

2009年4月25日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2009年4月30日】

団体名 東村山福祉ネットワーク

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現が「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

地域の障害者支援団体を結ぶ地域ネットワーク作り

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

応募申請書のとおり

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

応募申請書のとおり

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

1. 東村山福祉ネットワーク参加団体から資料を集めるため、個別訪問やメール配信を行いました。
2. 毎年の更新を目指す、差し替えの出来る冊子作りを工夫しました。
3. 東京コロニー東村山印刷所の障害のある方の仕事場に印刷製本を発注しました。
4. 表紙に障害のある方の絵を入れ、各ページに写真を挿入して印象を深める工夫をしました。
5. 要望があり、当初予定部数より多くの部数を作り、広く会の広報に活用しています。
6. 講演会、学習会のたびに冊子を活用して、ネットワークへの理解を深めています。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

全参加団体から情報を得られなかったため、今後さらに情報を集め、また、更新して、冊子を充実させる必要を感があります。

各団体もそれぞれの施設パンフはあることながら、多くの団体と活動内容を比較することで、情報の共有および情報提供のあり方、情報処理の必要性を再認識させられました。

さらに読みやすく、具体的な内容のサービスナビの作成をめざしています。

団体施設の相互利用など、(例・グループホーム)が行われ、成果を感じています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

○参考資料あり・特になし